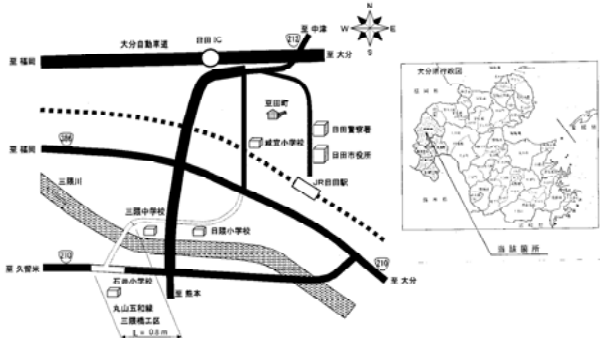


再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：九州地方整備局都市・住宅整備課

担当課長名：栗田 泰正

事業名		都市計画道路 丸山五和線（三隈橋） <small>まるやまごわせん みくまばし</small>		事業区分	街路	事業主体	大分県
起終点		自：大分県日田市大字庄手 至：大分県日田市大字石井				延長	0.8 km
事業概要 本路線は、日田市中心部を南北に貫き、国道210号と市街地を結ぶ幹線道路であるほか、現橋梁は、昭和31年に架設され老朽化が著しいため、延長0.8mの2車線道路を整備中である。							
H7年度事業化		S26年度都市計画決定 （H6年度変更）		H7年度用地着手		H11年度工事着手	
全体事業費		4.3億円		事業進捗率		4.2% 供用済延長 0 km	
計画交通量		12,000 台/日					
費用対効果 分析結果		B/C （事業全体） （残事業）		総費用 （残事業）/（事業全体） /40.7億円 （事業費）： /40.3億円 （維持管理費）： /0.4億円		総便益 （残事業）/（事業全体） /69.3億円 （走行時間短縮便益）： /65.8億円 （走行費用減少便益）： /3.3億円 （交通事故減少便益）： /0.2億円	
		1.7				基準年 平成16年	
感度分析の結果 交通量変動 B/C= 1.8（交通量+10%） B/C= 1.5（交通量-10%） 事業費変動 B/C= 1.6（事業費+10%） B/C= 1.7（事業費-10%）							
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（当該路線の整備によるバス路線の利便性向上の状況） 外4項目に該当							
関係する地方公共団体等の意見 丸山五和線（三隈橋）は、住民の安全性の確保、交通渋滞緩和に重要な役割を果たすことが期待されており、日田市や、地元の区長から構成される五和振興協議会から、毎年早期完成の要望があげられている。							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 サッポロビール新九州工場の完成（H12）により観光客が増加し、交通渋滞はますます深刻化している。							
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成16年度末事業進捗率は4.2%を予定している。用地買収、橋梁工事が残っており、平成16年度に事業期間の延伸を申請し、適正な執行を図る。							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 一部において用地補償協議が難航しているが、大多数の住民は早期完成を望んでいる。今後も用地買収に努め、早期供用開始を目指す。							
施設の構造や工法の変更等 河川管理施設等構造令の径間長に関する規定の見直しにより、3径間から経済的な4径間に変更し、コスト削減を図っている。							
対応方針		事業継続					
対応方針決定の理由		以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図							

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものである。